

2014年6月11日

各位

三井化学アグロ株式会社

BASF と新規殺虫剤のグローバル共同開発契約を締結

～新規殺虫剤で世界の食糧生産・生活環境の向上に貢献～

三井化学アグロ株式会社（代表取締役社長：金井健彦、以下三井化学アグロ）は、BASF（ビーエーエスエフ）と、三井化学アグロが見出したチョウ目、コウチュウ目などの防除が困難な害虫に高い効果を発揮する新規殺虫剤（MCI-8007）の独占的グローバルライセンス・開発契約を締結しました。三井化学アグロは BASF に対し、日本など一部の国を除き、MCI-8007 の商業化に関する世界的な独占実施権を提供します。両社は今後、製剤開発を推進し世界中のお客様へ高い効果を発揮する新規殺虫剤を提供して参ります。

新規殺虫剤 MCI-8007 は、三井化学アグロの持つ分子デザイン・有機合成技術から生まれた全く新しい作用性を持つ殺虫剤であり、既存剤に抵抗性を持つ害虫にも有効であり、農家や害虫駆除業者に対して非常に効果的な害虫防除ソリューションを提供します。また、害虫の抵抗性管理に有効なローテーション使用の一剤としても、重要な役割を果たします。

適用対象	葉菜類、果菜類、マメ類 ワタ、トウモロコシ、イネなど 住宅地などでの害虫駆除
対象害虫	農作物で問題となる多くの害虫（チョウ目、コウチュウ目など） 生活環境で問題となるシロアリ、アリ、ゴキブリ、ハエなど

BASFのマルクス・ヘルド農業製品部門プレジデントは、「三井化学アグロの新規殺虫剤は、BASFの現在そして将来におけるソリューションを補完する製品であり、BASFの殺虫剤ラインナップを更に強化するものと位置付けています。」とコメントしています。

三井化学アグロは、MCI-8007 を開発するにあたり、BASF とグローバルに提携することで海外事業の展開を加速するとともに、世界の食料生産・生活環境の向上に貢献して参ります。

今後、三井化学アグロと BASF は共同開発を推進し、2016 年の日本での登録申請を皮切りに、順次世界各国で登録申請していく予定です。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学アグロ株式会社 総務部：TEL. 03-3573-9501 FAX. 03-3573-9890（担当：上野）